2025 年 5 月 1 日発行

薬局通信 第 130 号

大阪母子医療センター

新規試用または採用、採用区分が変更になった医薬品一覧

新規試用医薬品	新規院外専用医薬品
① イノソリッド配合経腸用半固形剤	① イノソリッド配合経腸用半固形剤
新規採用医薬品	② ワイパックス錠 0.5
① ブリィビアクト錠 25mg・50mg	③ ゾコーバ錠 125mg
② エンレスト粒状錠小児用 12.5mg・31.25mg	④ アヘン散 10%
新規患者限定医薬品	⑤ エビリファイ OD 錠 3mg
① イズカーゴ点滴静注用 10mg	⑥ レズロック錠 200mg
② アトガム点滴静注液 250mg	
③ キュービトル 20%皮下注 4g/20mL・8g/40mL	

変更した医薬品

No	院内採用削除薬品名	理由	代替薬名
1	ジェイゾロフト錠 25mg	後発品切替のため	セルトラリン錠 25mg「DSEP」
2	ジェイゾロフト錠 50mg	後発品切替のため	セルトラリン錠 50mg「DSEP」
3	プラケニル錠 200mg	後発品切替のため	ヒドロキシクロロキン硫酸塩錠 200mg「DSEP」
4	デノシン点滴静注用 500mg	後発品切替のため	ガンシクロビル点滴静注用 500mg「VTRS」

採用薬品の処方開始は、原則として**2025年５月２日(金)**からになります。

ただし、採用中止薬、切り替え等は院内在庫薬がなくなり次第実施となりますので開始日が異なる場合があります。

新規試用医薬品

① イノソリッド配合経腸用半固形剤　経腸栄養剤

（イーエヌ大塚製薬株式会社）

一般名：経腸成分栄養剤(12)半固形剤

採用理由

類似薬であるラコールの半固形剤と同量でビタミン・微量元素を多く補充できるため。特に重症心身障害児者で嘔吐があるケースに使用予定。

効能効果

一般に、手術後患者の栄養保持に用いることができるが、特に長期にわたり、経口的食事摂取が困難な場合の経管栄養補給に使用する。

用法用量又は使用方法

通常、成人標準量として１日 900～1,500g（900～1,500kcal）を胃瘻より胃内に１日数回に分けて投与する。投与時間は 100g 当たり 2～4 分（300g 当たり 6～12 分）とし、１回の最大投与量は 600g とする。また、初めて投与する場合は、投与後によく観察を行い臨床症状に注意しながら増量して数日で標準量に達するようにする。

なお、年齢、体重、症状及び栄養状態により投与量、投与時間を適宜増減する。

処方区分：院内外処方可

長期投与の可否：可

薬価：14.40円/10g